



学校だより

川越市立山田中学校

令和5年3月24日 発行

学校教育目標『人を尊び 本気で学び たくましく』

～ふるさと川越山田に自信と誇りを持てる生徒の育成～

修了式にあたって

校長 守岡 信一

令和4年度の修了式の日を無事迎えることができました。修了式で生徒達に次のような話をしました。保護者、地域の皆様には本当に多くのご支援をいただきました。改めて、学校教育へのご理解・ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

今日は、令和4年度の締めくくりの日です。授業日数は201日でした。みなさんは、それぞれの目標に向かって、一年間よく頑張ったと思います。

さて、去る3月15日に、102名の3年生が充実した表情、笑顔で卒業していきました。1・2年生が3年生のために、式場の準備や校内の清掃などを、時間をかけて心を込めて行ってくれたおかげです。みなさんの温かな気持ちが3年生や、保護者、地域の方々に届いたと思います。

2年生は卒業式での参加態度もとても立派でした。4月からは、山田中学校の最高学年となります。山田中のリーダーです。ぜひ、巣立っていった先輩方に、勝るとも劣らぬ活躍を期待しています。山田中をさらに前進させてください。

1年生は、4月には113名の後輩が入学し、いよいよ先輩、中堅学年となります。新入生にとって身近な存在であるみなさんが、一番のよいお手本となることを期待しています。

今年度の最後の話でもあるので、私の一番の願いを改めて伝えたいと思います。

私の願いは、全校生徒355名（4月見込）の全員が、安心して、充実した学校生活を送れることです。これは譲ることができない願いです。300名以上もの人がいたら、その全員が、安心して、充実した学校生活を送ることは難しいでしょうか。私は山田中なら実現可能だと思っています。学校では、色々なことが起こります。例えば、いじめは望ましくないことですが、どの学校でも、どのクラスでも起こる可能性があります。「いじめはどうせ無くないし仕方ないと思っている学校」では、安心して生活することができません。「全校生徒が、いじめは絶対に許さないと思っている学校」である方が、過ごしやすく、よい学校生活を送れるのは明らかです。全員が安心して、充実した学校生活を送るためには、自分のことだけを考えるのではなく、常に、周囲の仲間、クラス全体、学年全体、学校全体のことを考え、行動していくことが大切です。自分の周りのことまで考えて行動することはとても難しいことですが、困っている人に声をかける、相手の気持ちに寄り添うなど、いつでも優しさを忘れないことが大切です。みんなが過ごしやすい学校は、自分自身も過ごしやすい学校になります。学校教育目標にある「人を尊ぶ」ということにも繋がっています。

来年度、みなさんが希望に満ちたスタートを切れるように、心から期待しています。